



平成29年10月31日

各 位

会 社 名 前澤化成工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 窪田 政弘
(コード番号 7925 東証第1部)
問合せ先 取締役兼上席執行役員管理本部長
伊東 正博
(TEL 03-5962-0711)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成30年3月期 連結業績予想数値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,700	1,370	1,550	1,000	66.35
今回修正予想 (B)	22,800	550	760	400	26.54
増減額 (B - A)	△ 1,900	△ 820	△ 790	△ 600	—
増減率 (%)	△ 7.7	△ 59.9	△ 51.0	△ 60.0	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	21,963	904	1,115	609	40.47

平成30年3月期 個別業績予想数値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,800	1,510	980	65.02
今回修正予想 (B)	21,050	800	430	28.19
増減額 (B - A)	△ 1,750	△ 710	△ 550	—
増減率 (%)	△ 7.7	△ 47.0	△ 56.1	—
(ご参考) 前期個別実績 (平成29年3月期)	20,298	1,140	628	41.68

修正の理由

売上高につきましては、管工機材分野において、新規事業分野向け製品「エモータブル」等に関して、大幅な売上高増加を見込んでおりましたが、販売不振により当第2四半期連結累計期間中における実績は計画を大きく下回ることとなり、今後も計画通りの業績を上げるのは困難であるとの判断に至りました。既存管材製品につきましても、当期原材料の値上げに伴う製品価格の改定を予定しておりましたが、原材料値上分をカバーするだけの製品価格改定は困難であると判断いたしました。また水処理分野におきまして、顧客の設備投資計画の遅れ等の影響により受注時期が当初見込みより遅れる案件が発生しており、予想を下回ることが見込まれます。

利益につきましては、売上高の減少に伴い利益の減少が見込まれることに加え、当社の主要セグメントである管工機材分野において、同分野の主要原材料である塩化ビニル樹脂の値上げの影響が続くため、減益となる見通しです。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上